

【評価実施概要】

事業所番号	173501131		
法人名	医療法人社団 上田病院		
事業所名	グループホームゆうゆう		
所在地	室蘭市日の出町2丁目2番27号 (電話) 0143-41-5100		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年10月29日	評価確定日	平成20年11月26日

【情報提供票より】(H20年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年12月10日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	27 人	常勤 21人, 非常勤 8人,	常勤換算4.1人

(2) 建物概要

建物構造	単独型鉄筋	造り
	2 階建ての	1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	理美容代 実費
敷 金	無	光熱費 500円/日・暖房費11~4月	150円/日
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	26 名	男性 8 名	女性 18 名
要介護1	5名	要介護2	7名
要介護3	8名	要介護4	2名
要介護5	4名	要支援2	0名
年齢	平均 86 歳	最低 75 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医) 上田病院・日鋼記念病院・三村病院・福田歯科
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは東室蘭駅近くの南東にあり、日用品等の大型店舗が隣接しているが、大型マンションもある。ホームの敷地は広く3ユニットが巧みに構成されていて、1階が居間、1部2階が居室となっている。各ユニットにエレベーターが設置されているが、階段利用による体力維持の効果も意図している。特徴はユニット間の交流できるよう開放的に設計され、利用者が自由に往来でき、職員も対応している。職員は笑顔が多く、丁寧で、家庭的で誠実なケアに精励しサービスに努め、変化のあるサービス企画を設定している。病院系列の関係もよく、定期的な診療も特徴の一つである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	法人内ユニットの実践発表会など職員間の研修の機会も多く、職員の資質向上に努めるほか、管内の発表会の参加等もあり積極的ななかかわりを示している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員の自己評価参加に努め、改善点の把握に努め、日常の業務に役立っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議にはホームの活動報告書を示し、町内会、包括支援センターからの参加がある。協議では子供の行事を含む地域との連携、防災訓練の地域の参加、地震想定訓練の必要などの助言があり、敷地周辺の不法駐車指摘など効果的な推進会議が開かれている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族用アンケート、毎月の情報誌の発行など家族の意向の汲み取りに工夫をしている。家族の来訪も多く、意見や要望に対応する機会も多い。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームの畑の手伝い、行事の連携・参加など着実な関係を広げつつある。関連病院の託児施設の子ども達の訪問、町内会の子どもみこしの交流、盆踊りの参加、ボランティアの導入、消防訓練の実施など地域との結びつきの工夫が多い。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の事業所理念は特に示していないが、地域との関連活動の重要性に着目した実践活動が随所に盛り込まれて、利用者の生活に益するよう工夫している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念に基づく活動を職員が深く理解して業務に努めるような体制を作っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会への加入と参加に努め、ホームの毎月発行の情報回覧など相互理解に役立てている。防災訓練には町内会の参加と共に実施している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員参加での自己評価作成に努めて、改善項目はユニット単位で解決できるよう協議し、その実践に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議にはホームの日常的な活動記録を提示して理解に努めると共に、委員の参加と協議内容は密度があり、有効な成果につなげている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所の実情を報告すると共に、必要に応じた相談・情報交換を重ねている。包括支援センターの運営推進会議の参加もあり、連携ある活動が行われている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の月次報告、ゆうゆう通信の発行連絡、個別の心身の状況を面会時を含めて報告示唆、金銭管理関係書面確認・送付などきめ細かな対応をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関の意見箱の設置、家族訪問時の要望・意見の職員会議での反映、運営推進会議でのホーム活動報告書に家族を含む往来、事故報告などに反映対応の姿勢がうかがわれる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者本位の姿勢で利用者の変化に留意した配慮をし、ダメージを与えない努力をしている。日頃からユニット間の交流は職員とともにに行い、顔なじみの関係作りを工夫している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>関連病院を含む新人研修、勉強会、研修・講習会の参加、研修報告書の回覧と指導、緊急時のシュミレーションの実施など職員の資質向上に努めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>胆振等広域連絡会への参加、研修会や情報交換の実施、研修生や見学者の受け入れ等、交流を進めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人・家族の見学、説明と納得に努めて、利用者が徐々に慣れ親しめるような配慮をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の生活歴情報を可能な限り収集するなど、理解に努め、現在の生活で活かせる力とその役割を職員が支援できるような関係づくりの努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>介護のためのアセスメント資料の充実に努め、その人ならではの言動・行動・表情・表現、日々の希望や意向が把握できるよう、個々の状態・状況に合わせた把握に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画と介護実践、更なるモニタリングを重ね、かつ、関係者が密接な連携の下に本人、家族の意向・意見を含め個々の状況に応じた介護計画を策定している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的見直しのほか、心身の変化に応じた介護計画の変更は、介護計画者と共に関係職員が速やかに家族を含む協議の基に、介護変更計画書を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者・家族の要望(家族宿泊・家族外出など)や生活の状況に応じた、可能な限りの支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の情報収集は確かに行き、本人家族の意向を確認して支援しており、受診時の都度本人・家族の納得を得ている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期の対応に関する要望や希望について確認し、覚書を交わしている。本人の状況に合わせた確認や主治医との連携ある方針の共有を図っている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>個々の心身の状況を把握することに努め、生活上の混乱を招くことのないような言葉かけなど個人の誇りや意図を損なうことのない処遇に留意している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員の処遇は利用者の日々の心身の状況・動作・意向を尊重して、個々の生活の流れを受け止めた支援となるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	症状の重度化が進行して調理の手伝いなどが、おぼつかなくなる利用者も多く、可能な限り活動能力や嗜好を大切にすると共に、食事の楽しみを共有できる話題を豊かにするなど工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴条件を利用者本位に即した対応を準備すると共に、車椅子利用者への職員2人対応、入浴拒否者へのきめ細かな配慮など厚い支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者個々の趣向などの配慮と季節の変化に合わせた行事の工夫、地域町内会との催事の開催など多様な組み合わせに工夫をして支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な外出支援のほか外出困難な利用者も含めた日光浴・買い物、時に大浴場の利用や花見などの行事の組み合わせを工夫して支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないことの理解は拘束にかかわる勉強会などの延長として職員間の認識として確かめている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防災訓練は日中・夜間を想定して、町内会の参加の基に実施している。非常口、消火器などの位置・通報の装置など操作手順をシュミレーションするなどの訓練をしている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量・水分量は日々記録し、職員が共有すると共に、個々の心身の状況に応じた食事の提供や栄養管理に活かしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>換気、空調、室温、彩光などには十分な配慮がなされ、季節の行事やレクプログラムと共に季節感や日々の変化に応じた生活を感じる花壇作り、玄関前にベンチをおくなど支援の工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の馴染みの家具、道具、人形、家族の写真など、個々の生活に合わせた居室作りがされて居心地感や雰囲気を作っている。</p>		

 は、重点項目。